



藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

特集：想いの継承「チーム FUJISAWA2020」



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が閉会を迎え、セーリング競技の開催地の藤沢市におけるシティキャストや 2020 応援団藤沢ビッグウェーブの活動も山場を越え終盤を迎えました。無観客での開催となりボランティアの活動に制限があったものの、今後も地域での活動を望む声が多くありました。もともと市民活動も盛んであった藤沢市では、そういった声も踏まえ、未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会のメンバーと協力をしながら、新たにボランティアポータルサイト「チーム FUJISAWA2020」(以下、チー

ム FUJISAWA) を立ち上げることになりました。今回は 10 月 1 日に運用を開始したチーム FUJISAWA の事務局を務める藤沢市東京オリンピック・パラリンピック開催準備室(以下、準備室)の谷村さんにお話をうかがいました。

—改めてチーム FUJISAWA の立ち上げの経緯について教えてください。

シティキャストをはじめとした様々なボランティア活動へ、本当にたくさんの方々の手を挙げていただきました。藤沢ビッグウェーブでは約 1 万 8 千の登録があり、(つづく)



特集：想いの継承「チーム FUJISAWA2020」

それだけたくさんの方々の想いがある中、大会が終わって全てゼロにたくない！と強く思いました。またアンケート等の結果から約8割（藤沢でのシティキャストの回答者）の方が何かしら活動をしたいと考えていることがわかりました。この想いをどうにかして繋げたいと考え、藤沢なりのレガシーとしてチーム FUJISAWA を立ち上げることになりました。



ボランティア活動の様子

なぜボランティアポータルサイトの形に？

市民活動推進センターやプラザむつあいには400近い団体が登録され活動していると聞いています。市内を中心に既に様々な活動があるなか、その支援する組織なども充実していると感じています。そういった組織によって実施されている活動とボランティアを結ぶための「ゆるやかにつながるサイト」を作ることになりました。ボランティアといっても、市民活動支援施設・社会福祉協議会などいくつかの窓口が点在している現状から、それをリンク集として皆さんにアクセスしやすい環境づくりをすることが、わかりやすく実りある取り組みになるのではと考えたことも理由のひとつです。そのため運営体制についても、市がサイトを運営しながら「チーム FUJISAWA2020 連絡調整会議（藤沢市観光協会、藤沢市みらい創造財団、藤沢市社会福祉協議会、藤沢市民活動推進機構、市内の大学で構成される）」にて企画や進め方などを協議する形を取っています。

チーム FUJISAWA の特徴を教えてください。

大きな特徴としては下記の3点が挙げられます。

- ・サイト上でボランティア募集、応募が可能になります
- ・事前に登録した分野でボランティア募集が行われる時にメールでお知らせします
- ・活動エリア、分野などからボランティア情報を検索することができます

10月1日にオープンした時点では一部機能のみの運用開始になりますので、今後段階的に拡充を予定しています。

どういった方や団体が登録できるのでしょうか。

ボランティアしたい方に関しては、どなたでも登録が可能です。サイトの「会員登録」ボタンよりメールアドレスなど必要事項を記入してぜひ登録ください。募集側の団体については、NPO や市民活動団体はもちろん企業などもOKです。申請いただいた後、事務局で審査を行い、登録完了となります。対象がどうかなど気になる点がございましたらまずはご相談ください。

チーム FUJISAWA の目指す未来とは？

ボランティア活動が市民の皆さんにとって身近なものになることです。「もっと気軽にボランティア」ができるまち。電車で席を譲るように、特別なことではなく、ボランティアの想いが繋がっていくこと。それが本市の掲げる郷土愛を育むことだと考えています。また既にある様々な活動が、他の団体と連携していくことや、新しい人も取り込んでいくことで、ボランティア文化が定着することを目指しています。市民全員に親しみをもって誰でも知っているサイトにチーム FUJISAWA を皆さんと一緒に育てていければと考えています。今後説明会など皆さまに知っていただく機会を作っていきますので、まずはサイトをご覧ください。嬉しそうです。

このように、市民の皆さんの熱い思いを実現するためのきっかけがチーム FUJISAWA のサイトです。是非一度アクセスしてみてください。（取材と記事作成：桜井）

チーム FUJISAWA2020 説明会 開催！

あなたの活動や団体紹介、ボランティア募集をしませんか？

チームFUJISAWA2020ウェブサイト上でのボランティア募集・団体登録の方法等についての説明会です

日程：2021年10月30日（土）10:00～11:00

会場：オンライン（Zoom）

対象：ボランティア活動団体、ボランティア募集を予定している方等

費用：無料

申込：【10/27（水）まで】に必要事項をメール

申込先 2020ouen@f-npon.jp

必要事項

・件名に「チームFUJISAWA2020

説明会参加希望」

・お名前／団体名（任意）／メール

アドレス（Zoomの参加用URL送付先）

主催：藤沢市・

「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」事務局

協力：藤沢市市民活動支援施設

お問合せ：「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」

事務局 TEL:0466-53-7366

E-mail:2020ouen@npon.jp



藤沢市のボランティアウェブサイト
チーム FUJISAWA2020 説明会
あなたの活動や、団体紹介、ボランティア募集をしませんか？

日程：2021年10月30日（土）10:00～11:00
会場：オンライン（Zoom）
対象：ボランティア活動団体、ボランティア募集を予定している方等
費用：無料
申込：【10/27（水）まで】に必要事項をメール
申込先：2020ouen@f-npon.jp

主催：藤沢市・「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」事務局
協力：藤沢市市民活動支援施設
お問合せ：「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」事務局
TEL:0466-53-7366
E-mail:2020ouen@npon.jp

10月は助成金等の募集締切が多い月です。昨年(2020年)度、当支援施設で紹介させていただいた募集期限ありの支援情報195件のうち、2番目に多かったのが10月(25件)です(※1)。「今、ちょうど応募書類を書いているよ!」という方もいらっしゃるでしょうし、「どうすれば審査員に高く評価される申請書になるのか?」と迷っている方も多いと思います。

助成金などの申請書執筆で役に立つものの1つに「白書」があります。白書とは「政府の公式の調査報告書」(※2)です。現在の日本の状況を示す客観的な事実が書かれた資料になります。白書に書かれている内容は、助成金の審査員(特に学術的知見をお持ちの審査員)の方々も良くご存じでしょう。白書に掲載されているデータを引用すれば、社会的に共有しているのと同じ現状認識に基づいて助成等の申請している証拠になり

ます。そして、「ちゃんと勉強している良い団体ですよ!」というアピールにもなります。

2021年現在、日本政府が作成している白書は53つ(※3)あります。各市民団体が参考となる白書は異なりますが、例えば「環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」の令和3年版では、テーマが「2050年カーボンニュートラルに向けた経済社会のリデザイン(再設計)」です。「気候変動」から「気候危機」へと移行行中、地球規模での取り組みから個人でも取り組めるライフスタイルの変容まで掲載されています。

自団体の活動に関わる内容が白書のどこに掲載されているのかを見つけることで、自分たちの活動が担っている役割を客観的に位置づけなおすことも、活動の意義を伝える上で有効です。白書は、図書館に蔵書されていますし、本屋で購入もできます。

webでも閲覧ができます(※3)。気になる分野の白書を見て、助成金等の申請だけでなく、日頃の活動にもつなげてみてはいかがでしょうか。

当支援施設では、助成金等の申請についての相談も行っております。「申請書の書き方が分からない」、「申請書の文章で審査員に伝わりにくい所があるかチェックしてほしい」など、是非ご相談ください。(す)



※1 2021年度で1番多かったのは7月(27件)ですが、コロナ関連の特設助成金等が多かったためです。
 ※2 新村出編者(1998)『広辞苑第五版』岩波書店
 ※3 e-Govポータルを参照。
<https://www.e-gov.go.jp/about-government/white-papers.html>

レジリエンスな組織

なぜなに

NPO

vol.147



10月に入り、緊急事態宣言が解除となり、少しだけにぎやかな街の景色を見えています。しかしながら、いつどうなるのかわからないという不安も持ちつつの動きなのではないでしょうか。

このような中で、「レジリエント」(resilient)や「レジリエンス」(resilience)という言葉をよく耳にするようになりました。

広辞苑によると、レジリエンスは、物理の分野の言葉で、「弾力性」「反発性」とあります。近年では、心理学、生態学で、困難で脅威を与える状況にもかかわらず、うまく適応する過程や能力、および適応の結果のことと表現しています。具体的には、危機を乗り越える柔軟で、しなやかに立ち直る力ということであり、社会生活上のキーワードとして、「レジリエントな組織」「レジリエントな社会づくり」「防災レジリエンスの向上」などと使われています。この用語は2001年ニューヨークで起きた9.11同時テロや2011年3月の東日本大震災で危機対応のキーワードとなり、2013年に開催された、ダボス会議(世界経済フォーラム)のメインテーマとして取り上げられた頃から経済面

でも話題となっていたようです。2019年には京都市が「京都市レジリエンス戦略」をまとめ京都市のレジリエンスの源泉に「地域力」と「市民力」を上げ、同時に国連のSDGsの取り組みも連携して進めることが盛り込まれています。このように、用語としては、それほど目新しいものではないようですが、コロナ禍における18カ月に及ぶ生活の変容に対し、「弾力性」や「回復力」という意味を持つ言葉として焦点が当てられているようです。

これまでも、市民が主体的に活動する非営利活動組織は、大きな自然災害などの「想定外の突発的なショック」と経済格差・社会的弱者・気候変動といった「先を見通すことの難しい慢性的なストレス」から「弾力性」の高い「回復力」によって対応してきました。今回の世界的なコロナの蔓延後においても、単に元の状態に戻すという意識を超えた、あらゆる努力と研究、実践を通して、この危機を糧に成長するという「しなやかに立ち直る力」を身につけ、組織そのものも「レジリエントな組織」としていきましょう。(て)

講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■施設の利用制限期間	10月1日(金)	～	10月24日(日)
■マネジメント講座「NPOの“使える”ITツール講座」	11月4日(木)		13:30～15:30
■プラザdeカフェ「もっとスマホを楽しもう♪」	11月6日(土)		10:00～12:00
■2022年以降の藤沢を考える！フジサワアイデアソン	11月14日(日)		14:00～16:00

NEW!

支援施設からのお知らせ

■施設のご利用制限について

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、10月1日(金)より10月24日(日)までは、会議室のご利用時間を短縮しての開館となります。利用者の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

【対象期間】2021年10月1日(金)より10月24日(日)まで
※期間は感染拡大状況等により変更の可能性があります

【制限内容】

・市民活動推進センター

- ①会議室利用時間 9:00～21:00
- ②会議室定員 会議室A 15名まで
会議室B 10名まで

その他、詳細はQRコードの先よりご覧ください。



■マネジメント講座「NPOの“使える”ITツール活用講座」

業務効率化、コミュニケーションをとるためのツール、資金調達、PRなどさまざまなシーンに適したITツールについて学べる中級～上級向けのオンライン講座です。

日時：2021年11月4日(木) 13:30～15:30

会場：オンライン

講師：桜井 光氏

料金：1000円

内容：ICTの導入について／ITツールの紹介
ICTの活用に向けて注意すべきこと

対象：NPO、ボランティア団体で活動している方

定員：30名

問合・申込：市民活動推進センター



■11月15日～22年1月15日市民活動情報コーナー団体募集

10月6日現在、3団体お申し込み頂けます(先着順)

■プラザdeカフェ「もっとスマホを楽しもう♪」

スマートフォンで撮影した写真をアレンジ！コラージュや文字入り画像で、近況のお便りを作ってみませんか？

日時：2021年11月6日(土) 10:00～12:00

会場：六会公民館2階 第一談話室

料金：無料

対象：スマートフォンの活用に興味のある方

定員：20名

問合・申込：市民活動プラザむつあい



■2022年以降の藤沢を考える！フジサワアイデアソン

今後の藤沢市の未来像や、現在すでに感じている課題など、さまざまな意見を参加者同士で多く挙げ、それが具現化できるようにファシリテーターが入っての話し合いを行います。

日時：2021年11月14日(日) 14:00～16:00

会場：オンライン

料金：無料

内容：東京2020大会が終わり、これからの藤沢のあるべき姿について話し合い、実現方法を考えます。

対象：藤沢市内外で公益的な市民活動を行っている方

定員：50名

問合・申込：市民活動推進センター



■ITサポート講座「パワポでプレゼン」

スマートフォンで撮影した写真をアレンジ！

日時：2021年12月6日(月) 13:30～16:00

会場：市民活動推進センター 会議室

料金：500円

対象：NPO・市民活動・地域活動に関わっている方

定員：10名

問合・申込：市民活動プラザむつあい



発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢 1031 GRAFARE FUJISAWA 2F

※ビル名が変更になりました

TEL：0466-54-4510 FAX：0466-54-4516

Eメール：f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～19:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野 4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX：0466-81-0222

Eメール：f-npoplaza@shonanfujisawa.com

URL：http://plaza6i.f-npon.jp/



編集：認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構（藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体）

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪
サポーターも随時募集中です！